

11/27 (土) 高木元右衛門銅像除幕式

高木元右衛門の銅像が、わいふ一番館前に完成し、除幕式が行われました。高木元右衛門は、作家司馬遼太郎の著書「亀馬がゆく」に剣豪として登場する菊池市出身の幕末の偉人です。

除幕式には、作者である、崇城大学芸術学部教授で彫刻家の石原昌一さんや高木家の子孫も出席しました。銅像は青銅製で、石原さんが史料や子孫の写真などをもとに製作したものです。



披露された高木元右衛門の銅像

11/20 (土)～11/21 (日) 友好都市岩手県遠野市から市民交流団が訪問

岩手県遠野市の市民交流団8人が本市を訪れ、視察研修や市民と交流しました。毎年、宮崎県西米良村を含めた3都市で交流しているもので、友好・姉妹都市の交流を行っている市民団体「菊池都市間交流の会」会員の案内で、菊池則隆公墓所や鞠智城を見学し、自然栽培農業を行っている七城町の元田農場などを視察しました。また、地元区長たちと自治会活動などについて意見交換を行い、次の研修先である西米良村へ向かいました。



元田農場で無農薬・無肥料栽培の作物を見学

11/16 (火) 小学校の授業に認知症 サポーター養成講座

隈府小学校（恵濃裕二校長）の5年生を対象に、認知症サポーター養成講座が開催されました。これは、市民に認知症を正しく理解してもらい認知症の人やその家族が地域で安心して暮らせるように実施しているもので、現在約4,400人のサポーターが誕生しています。小学校での開催は初めてですが、講座後のアンケートには「認知症の人と話すことがあったら、相手の目線に立ってゆっくり話し、優しく接してあげたい」などの意見が多くありました。



サポーターの証「オレンジリング」をかざす児童

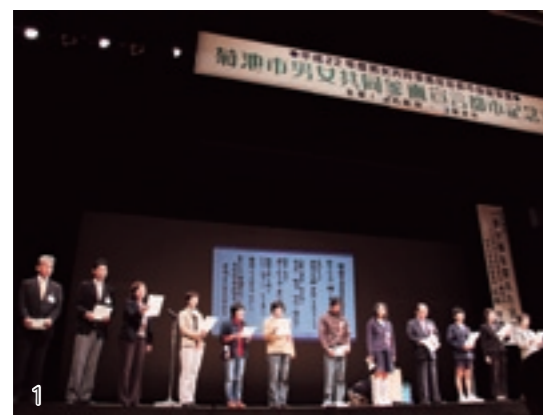
11/9 (火)・11 (木)・16 (火) 菊池南中学校で乳児ふれあい学習

思春期教室「乳児ふれあい学習」が菊池南中学校（会澤正孝校長）で行われました。3日間にわたり行われた学習には、3年生180人と生後4～9カ月の赤ちゃんとお母さん20組が参加しました。生徒たちは赤ちゃんを抱っこしたり、衣服の着脱やオムツ交換を体験しました。また母子健康手帳やアルバムを見ながら、お母さんたちから出産や育児についての話を聞き、育児の喜び、苦労、親になる責任などを学びました。



赤ちゃんを抱っこする生徒

11/20 (土) 菊池市は男女共同参画宣言都市となりました



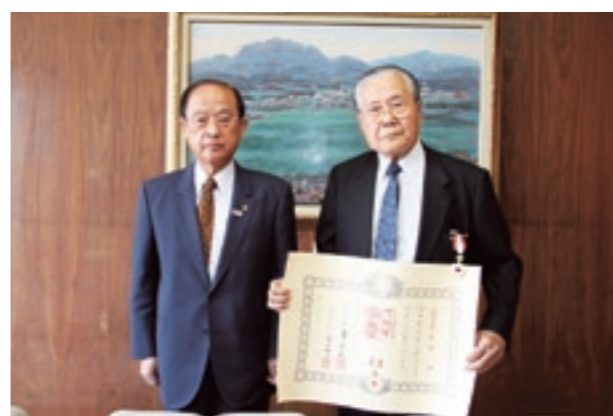
内閣府との共催による男女共同参画宣言都市記念式典が、菊池市文化会館大ホールで開催されました。オープニングイベントでは、男女共同参画イメージソング「こころひとつ」が菊池市民合唱団と菊池市民少年少女合唱団により合唱。続いて、作品コンクール入賞者表彰、市民の代表と福村市長による宣言文の群読および内閣府報告。最後に中央大学法学部の広岡守穂教授による「妻が僕を変えた日」と題した記念講演では、誰もが持っている自分育ての大切さを家族や地域を通して、これからの生き方や働き方を自身の体験から笑いを交えながら男女共同参画を分かりやすく話されました。



1. 宣言文群読には、11月20日生まれの子どもたちなど16人が参加
2. 記念講演
- 3・4. 男女共同参画イメージソング「こころひとつ」の合唱
5. たくさんの入場者で盛会以終了

11/29 (月) 受章 おめでとうございます

平井 溜さん（㊟ 井戸方）が、平成22年秋の叙勲において旭日双光章を受章されました。平井さんは36年の永きにわたり旧泗水町議会議員として公務に奨励。うち15年余りは議長として円滑な議会運営に努め、町政の発展と住民福祉の向上に大きく貢献されました。受賞報告の中で、「地域のご協力のおかげでこの受賞ができた、地域皆さんに心から感謝申し上げたい」と述べられました。



受章の報告に訪れた平井さん（右）

11/18 (木) 七城ホテルを育てる会が農林水産大臣賞を受賞

七城ホテルを育てる会（岩崎勝義代表）が、平成22年度豊かな暮らしづくり全国表彰事業九州ブロックにおいて、農林水産大臣賞を受賞しました。表彰式は、阿蘇郡高森町のフォークスで行われました。ホテルを守るための環境づくりなど、同団体の活動が農業の振興や環境保全に繋がったことが評価されたものです。



七城ホテルを育てる会の皆さん